

Lecture 11

Date & Place: 2009 February 19th、アワサ

Title of lecture: 「エチオピア南部州における生態資源の利用について」

Lecturers: 重田眞義 (京都大学)

Summary:

アワサの湖のそばでおこなわれている魚の朝市を訪問。参加者に対して魚の販売に関して簡単な聞き取りおよび観察調査の課題をだした。参加者はエチオピアの共通語であるアムハラ語を習熟しておらず、一方、魚市ではたらいっている人びとは英語には習熟していなかったため、参加者は、各自試行錯誤しながら、魚市の様子を観察・記録していた（写真4）。魚の種類、名前、価格、魚のさばき方、魚の部位による売りわけ、それぞれの部位を買っていく人たちの層など、1時間程度ではあったがさまざまな点について情報をあつめることができた。その後、アワサ大学を訪問。アワサの水産資源についての人類学的な研究がほとんどすすめられていないことを教えてもらう（写5）。学生のなかには、自分の出身地域について調査をおこなおうとしているものがいた。



写真4



写真5